
PRESS RELEASE

2019年3月6日、ロンドン

世界のプラチナ需要は、2019年に5%の増加を 予測

- ETF需要の急増により、2019年の需要は増加
- 供給が5%増加するため、2019年の市場余剰は21トン
- パラジウム価格の上昇を受け、プラチナ需要の成長は増加が予想される

2019年3月6日ロンドン：World Platinum Investment Council（WPIC、ワールド・プラチナム・インベストメント・カOUNシル）は本日、*Platinum Quarterly* 最新号の出版を発表しました。これは世界のプラチナ市場に関する史上初の独立した四半期毎の分析で、無料で提供されています。本レポートには、プラチナ需給に関する2018年度第4四半期および2018年度通期の分析、2019年度の予想が掲載されています。

2019年の予想は、世界のプラチナ需要が5%増加し、241トンになることを示しています。これは、投資需要の大幅な増加が、自動車、宝飾、工業セグメントの需要低下を相殺すると予想されているためです。供給の伸び率は5%となり、需要の伸びを上回る結果、市場の余剰は前年の20トンから21トンに増加します。

ETF保有は2018年の純減から反転し、堅調に伸びることに加え、地金やコインへの旺盛な需要も続くとみられているため、2019年の総投資需要は16トンとなると予想されています。2018年末にかけてETF保有は減少したものの、欧米市場および南アフリカの投資家は、2019年の年初2週間でETF保有を急速に増加させました。

2019年の化学業界の需要は1トン増加する見通しで、ガラスおよび他の工業セグメントの需要の減少を相殺するでしょう。このため、工業需要は全体で2018年の最高水準59トンに近くなると思われます。宝飾需要は、中国の需要およびその他の地域の成長ペースの減速に歯止めがかかり、わずか1%減の72トンとなると見込まれています（2018年は2017年比4%減）。

自動車需要の減少は2018年よりもペースが鈍化し、2019年は前年比3%減の93トンになると予想されています（2018年は7%減）。減少ペースが鈍化する一因として、インドにおける軽負荷ディーゼルの自動車触媒への需要が安定することが挙げられます。

欧州では自動車触媒のリサイクルが加速していますが、米国では鈍化しているため、リサイクル用プラチナ供給は2019年に3%増加し、61トンになると予想されています。

PRESS RELEASE

2019年3月6日、ロンドン

WPIC 最高経営責任者 Paul Wilson（ポール・ウィルソン）によるコメント：

「2019年にプラチナ投資需要が増加すると予想されていることは好材料であり、このトレンドは継続すると予想されます。世界中の提携先を通じて製品開発に取り組み続けていること、プラチナは金よりも割安であることから、今後も地金やコインに対する堅調なリテール需要の下支えとなるでしょう。

2019年の南アフリカの製錬高予想は、主に仕掛かり品在庫の一部が一時的に放出されたため、前回予想から増加しています。2019年におけるプラチナ投資の成長の3つの要因として、南アフリカ鉱山における生産の混乱が続けば、供給が減少する可能性があること、西欧のディーゼルの市場シェア回復により、自動車需要が増加する可能性、パラジウム価格の大幅上昇により、ガソリン車におけるパラジウムの代替として今後のプラチナ需要が増加する可能性が高まることが挙げられます。」

2018年度

2018年はプラチナのリサイクルがやや増加したが、鉱山供給が減少したため、プラチナの総供給量は若干減少し、249トンとなりました。プラチナ需要は5%減少し、229トンとなったため、市場は20トンの余剰となりました。需要の低迷は、宝飾、自動車、投資の各分野の減少が工業需要の改善を上回ったためです。

2018年第4四半期に需要が増加した唯一のセグメントは工業用で、主に石油需要の回復により、前年比7%増の14トンとなりました。2018年第4四半期は、西欧のディーゼル車市場で需要の減少が続いていることを背景に、自動車需要は前年比8%減の24トンとなりましたが、2018年第3四半期比では10%増加しました。2018年第4四半期の宝飾需要は、中国の小売売上高の不振がメーカー需要の低迷につながり、12%減の19トンとなりました。2018年第4四半期は地金およびコインの売上がETF保有の純減を相殺できず、純投資需要は減少しました。

「Platinum Quarterly」最新版のダウンロードおよび／または今後調査結果を無料でお受取りになるための登録については、WPICのウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

-以上-

PRESS RELEASE

2019年3月6日、ロンドン

2018年度第4四半期予想									
	2016	2017	2018	2019年度 予想	2018年度/ 2017年度成 長率 (%)	2019年度予 想/2018年 度成長率 (%)	2017年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第4四半期
プラチナ蓄給バランス (トン)									
供給量									
製錬高	188	191	189	201	-1%	6%	49	52	48
南アフリカ	132	136	137	147	1%	7%	35	39	35
ジンバブエ	15	15	15	15	-2%	0%	4	4	4
北米	12	11	11	13	-1%	14%	3	3	3
ロシア	22	22	21	21	-6%	0%	6	6	5
その他	6	6	5	6	-6%	6%	1	1	1
生産者製品在庫における増減 (+/-)	+1	+1	+0	+0	-50%	-100%	+1	-1	-0
鉱山からの総供給量	189	191	190	201	-1%	6%	50	52	48
リサイクル									
自動車触媒	57	59	59	61	1%	3%	16	15	15
宝飾	38	41	44	47	7%	5%	11	11	12
工業	19	17	15	14	-13%	-5%	4	4	3
その他	0	0	0	0	0%	0%	0	0	0
総供給量	246	250	249	262	0%	5%	66	67	63
需要									
自動車	108	103	96	93	-7%	-3%	26	22	24
自動車触媒	103	99	92	89	-7%	-4%	25	21	23
ノンロード	4	4	5	5	4%	3%	1	1	1
宝飾	78	77	73	72	-4%	-1%	21	18	19
工業	55	53	59	59	11%	-1%	13	15	14
化学	17	18	18	19	-3%	6%	4	5	4
石油	7	3	7	7	140%	0%	1	2	2
電気	6	6	6	6	-3%	0%	2	2	2
ガラス	6	6	7	7	27%	-11%	1	2	1
医療	7	7	7	7	2%	0%	2	1	2
その他	12	12	13	12	5%	-5%	3	3	3
投資	17	9	0	16	-95%	N/M	3	2	-2
地金、コインの増減	14	7	9		30%		2	2	2
ETF保有高の増減	0	3	-8		N/M		2	0	-4
取引所在庫の増減	3	-1	-1		-56%		-1	0	0
総需要量	258	241	229	241	-5%	5%	64	57	55
残余量	-12	9	20	21	126%	5%	2	10	8
地上在庫	129*	59	67	88	109	30%	24%		

メディア関連のお問い合わせ先 : Kekst CNC

Claire Maloney (クレア・マローニー) または Simren Priestley (シムレン・プリーストリー)

電話 : +44 (0) 20 7551 604 / +44 203 7551 670

wpic@kekstcnc.com

編集者への注記 :

Platinum Quarterlyについて

Platinum Quarterly は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される史上初のレポートです。 *Platinum Quarterly* は World Platinum Investment Council

PRESS RELEASE

2019年3月6日、ロンドン

の出版物です。これは主に、白金族金属市場において権威のある独立機関の SFA Oxford (SFA) に依頼し、実施された調査および詳細な分析に基づいています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンシル) (WPIC) は、プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPICの使命は、行動可能な見識と目標を定めた製品開発を通して、プラチナに対する世界的な投資需要を喚起することにあります。WPICは、南アフリカの主要プラチナ生産者により2014年に創設されました。WPICの加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Lonmin (ロンミン)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sibanye-Stillwater (シバニエ・スティルウォーター) です。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。 www.platinuminvestment.com

WPIC事務局住所：64 St James' s Street, London, SW1A 1NF

SFA (Oxford) について

SFA (Oxford) は2001年に設立され、白金族金属市場において最も重要な権威のある独立機関の1つであるとみなされています。本機関の徹底的な市場調査と完全性は、鉱山から、市場、リサイクルに至るコンサルティング業務、並びに他に類を見ない世界的な業界ネットワークにより裏付けられています。

SFAは、広範かつ多岐にわたる業界知識を有し、それぞれがバリュー・チェーンの主要分野を専門領域としている専属のPGMアナリスト9名、および世界各地を拠点とする多くの提携スタッフで構成されています。SFAは、お客様に対して、業界の未来に影響する最も困難な質問に対して回答を提供することが可能です。

データまたは論評のいかなる部分も、著者による書面での許可なしに、資本市場（資金調達）へアクセスする特定の目的のために使用することはできません。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください： <http://www.sfa-oxford.com>

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の1つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

PRESS RELEASE

2019年3月6日、ロンドン

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの2つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去5年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の72%~78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の4大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去5年間のプラチナ需要は、総需要量の37%から41%の間を推移しています。他工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の20%となっています（過去5年間の平均）。同じく過去5年間の宝飾品におけるプラチナ需要は、年間平均でプラチナ総需要の35%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も小さいカテゴリーであると同時に、過去5年間で最も変化が大きく、総需要の2%から11%を占めています（地上在庫の増減を除く）。

免責事項

World Platinum Investment CouncilおよびSFA（Oxford）のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細については、ウェブサイトをご覧ください。 www.platinuminvestment.com